

2022年度用 教員の情報公表内容

- (1)氏 名 : 盆子原 秀三 (ボンコハラ シュウゾウ)
- (2)職 名 : 教授 理学療法学科長
- (3)学 位 : 博士(保健医療学)
- (4)資 格 : 理学療法士
- (5)担当科目 : 人間関係実践演習Ⅲ 基礎整復総合演習Ⅷ 臨床運動学実習 応用運動療
法学 理学療法治療学演習 理学療法特講Ⅱ 見学実習(3年次) 評価実習
(3年次) 臨床教育実習Ⅱ前期(4年次) 臨床教育実習Ⅱ後期(4年次)
- (6)研究テーマ
- ① 観察による歩行分析の熟練度について
 - ② 混合研究法による行動観察
 - ③ 老年期の理学療法
- (7)研究業績等
- ① 著書『印象から始める歩行分析』(共著) 医学書院 2018年11月
 - ② 著書『筋学ハンドブック』(共著) 医歯薬出版 2014年6月
 - ③ 訳書『観察による歩行分析』(共訳) 医学書院 2005年6月
- (8)所属学会・団体
- ① 日本理学療法士協会
 - ② 臨床歩行分析研究会
 - ③ 国際混合研究学会(MMIRA)日本混合研究法学会

2022年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 加藤 宗規 (カトウ ムネノリ)

(2)職 名 : 教授 理学療法学科副学科長

(3)学 位 : 博士(保健医療学)

(4)資 格 : 理学療法士

(5)担 当 科 目 : 運動学実習 理学療法カウンセリング 人間関係実践演習Ⅱ
神経障害理学療法学演習 理学療法特講Ⅱ
理学療法研究法特論 卒業課題研究 見学実習
評価実習 総合臨床実習

(6)研究テーマ

- ① 筋力測定
- ② 脳卒中片麻痺
- ③ 応用行動分析学

(7)研究業績等

- ① 論文 『Test-retest reliability of isometric ankle plantar flexion strength measurement performed by a hand-held dynamometer considering fixation: Examination of young healthy participants』(単著) Journal of Physical Therapy Science 2022年
- ② 著書 『PT・OT ビジュアルテキスト神経障害理学療法学』(共著)羊土社 2018年
- ③ 著書 『PT スタートガイド基礎理学療法概論』(編著)メジカルビュー社 2018年

(8)所属学会・団体

- ① 理学療法科学学会
- ② 日本臨床スポーツ医学会
- ③ 日本行動分析学会

2022 年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 山之口 美喜生 (ヤマノクチ ミキオ)

(2)職 名 : 副学長 理学療法学科教授

(3)学 位 : 修士(医療福祉管理学)

(4)資 格 : 理学療法士

(5)担当科目 : 義肢装具学実習・リハビリテーション医学・発達障害理学療法学総論・医療情報学・理学療法治療学演習・ケアマネジメント論・理学療法管理経営学・理学療法特講Ⅱ・臨床教育実習Ⅱ

(6)研究テーマ

- ①義肢装具の運動力学的解析について
- ②温熱刺激療法による知覚感受性と運動機能の変化について
- ③小児・周産期2次医療圏データベースをもとにした小児医療の供給分析について

(7)研究業績等

- ①著書 『小児・周産期2次医療圏データ(タックン)Ver1.0.3』 (共著) (株)ウェルネス
2012年6月(以後年次更新)
- ②著書 『小児・周産期2次医療圏サマリーデータ(作万理さん)Ver1.0.1』 (共著)
(株)ウェルネス 2012年6月
- ③論文 「ストレスフリー療法がアレルギー性鼻炎の自覚症状に与える効果」 (共著)
『了徳寺大学研究紀要』 第12号 2018年3月

(8)所属学会・団体

- ①日本理学療法士協会

2022年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 武内 朗 (タケウチ アキラ)

(2)職 名 : 教授 学術情報センター長

(3)学 位 : 学士(社会学) 修士(健康デザイン学)

(4)資 格 : 理学療法士

(5)担 当 科 目 : 理学療法評価学Ⅰ 理学療法学概論 理学療法特講Ⅱ
神経系障害理学療法学実習 基礎運動療法学実習 日常生活活動学実習
臨床教育実習Ⅱ(前期) 臨床教育実習Ⅱ(後期) 見学実習 評価実習

(6)研究テーマ

- ①健常成人の肩関節の制限と姿勢との関係
- ②成人片麻痺患者のヘルスプロモーション

(7)研究業績等

- ①著書『理学療法士 ポケット・レビュー帳 基礎編』(共著) メジカルビュー社 2009年8月
- ②著書『理学療法士・作業療法士ポケット・レビュー帳 基礎編』(共著) メジカルビュー社
2009年9月
- ③著書『PT スタートガイド 基礎理学療法概論』(共著) メジカルビュー社 2018年2月

(8)所属学会・団体

- ①理学療法学会
- ②日本ヘルスプロモーション学会
- ③日本リハビリテーション連携学科

2022年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 中 村 浩 (ナカムラ ヒロシ)

(2)職 名 : 教授

(3)学 位 : 博士(医学)

(4)資 格 : 理学療法士

(5)担 当 科 目 : 運動学Ⅱ、応用運動療法学、理学療法治療学演習、神経系障害理学療法学実習、内部障害理学療法学、内部障害理学療法学実習、理学療法特講Ⅱ、生活環境学、医学論文(英文)、人間関係実践演習Ⅰ、見学実習、評価実習、臨床教育実習Ⅱ(前期)、臨床教育実習Ⅱ(後期)

(6)研究テーマ

- ① 下肢アライメントが姿勢、歩行に及ぼす影響(足部形態、体幹動揺の評価)
- ② 地域高齢者の健康増進および介護予防を目的とした理学療法の介入
- ③ ストレスと自律神経(呼吸および心拍変動)の関係

(7)研究業績等

- ① 論文 Relationship between the medial longitudinal arch movement and the pattern of rearfoot motion during stance phase of walking. *J.Phys. Ther.Sci.*15: 2002年11月
- ② 論文「スマートフォンアプリケーションを使用した関節可動域測定の信頼性と妥当性の検討—画面の大きさ(スマートフォン, タブレット端末)の違いによる比較—」(共著) 『了徳寺大学研究紀要』第13号: 2019年3月
- ③ 論文「健常若年成人男性におけるチルトテーブルを用いた部分荷重スクワットの生理学的応答」(共著) 『了徳寺大学研究紀要』第14号: 2020年3月

(8)所属学会・団体

- ① 理学療法士協会
- ② 靴医学学会
- ③ 理学療法科学学会

2022年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 山田 洋一 (ヤマダ ヨウイチ)

(2)職 名 : 教授

(3)学 位 : 博士(保健医療学)

(4)資 格 : 理学療法士 介護支援専門員
公認身体障害者スポーツ指導員 福祉住環境コーディネーター2級

(5)担 当 科 目 : 整形外科系障害理学療法学, 発達障害理学療法学総論 人間発達学
運動学実習 日常生活活動学実習 理学療法評価学Ⅱ、理学療法特講Ⅱ、
見学実習, 評価実習, 臨床教育実習Ⅱ(前期) 臨床教育実習Ⅱ(後期)

(6)研究テーマ

- ① 理学療法教育・管理
- ② 理学療法スキル(視線特性)
- ③ シミュレーション教育(VR, メタバースの可能性)

(7)研究業績等

- ① 論文「理学療法士の自己認識から抽出した今後の育成課題」(共著)『理学療法科学』
27(4).385-389 2012年9月
- ② 論文「理学療法評価における視覚的分析能力の調査」(単著)『国際医療福祉大学大学
院博士論文』2014年3月
- ③ 論文「脳血管障害片麻痺者疑似体験用装具の開発と歩行再現性について」(共著)『リハ
ビリテーション教育研究』25.116-117 2019年3月

(8)所属学会・団体

- ① 日本理学療法士協会
- ② 理学療法科学学会
- ③ 日本ボバース研究会
- ④ 日本シミュレーション医療教育学会

2022 年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 荒巻 英文 (アラマキ ヒデフミ)

(2)職 名 : 准教授

(3)学 位 : 修士(リハビリテーション学)

(4)資 格 : 理学療法士

(5)担 当 科 目 : 物理療法学総論(実習を含む) 地域リハビリテーション理学療法学
機能能力診断学実習 理学療法評価学Ⅰ 理学療法特講Ⅱ
整形外科系障害理学療法学実習 整形外科系障害理学療法学演習
見学実習 評価実習 臨床教育実習Ⅱ前期 臨床教育実習Ⅱ後期

(6)研究テーマ

- ① 骨格筋に関する研究
- ② 筋力測定に関する研究
- ③ 超音波診断に関する研究

(7)研究業績等

- ① 著書 『筋肉研究最前線 ー代謝メカニズム、栄養、老化・疾病予防、科学的トレーニング法ー』 (共著) エヌ・ティー・エス 2019年9月
- ② 論文 「ヒト骨格筋の反復伸張における筋肥大及び筋力増強効果の検証」 (共著)
理学療法科学学会 『理学療法科学』第30巻2号 2015年4月
2015年度 理学療法科学 優秀論文賞
- ③ 論文 Validity and reliability of isometric muscle strength measurements of hip abduction and abduction with external hip rotation in a bent-hip position using a handheld dynamometer with a belt (共著) *J. Phys. Ther. Sci.* 28(7) 2016年7月

(8)所属学会・団体

- ① 日本理学療法士協会
- ② 日本基礎理学療法学会
- ③ 理学療法科学学会

2022年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 平野 正広 (ヒラノ マサヒロ)

(2)職 名 : 准教授

(3)学 位 : 博士(保健医療学)、修士(保健医療学)

(4)資 格 : 理学療法士

(5)担 当 科 目 : 内部障害理学療法学、内部障害理学療法学実習(喀痰・吸引含む)、整形外科系理学療法学実習、機能能力診断学実習、運動学実習、リハビリテーション概論(栄養学、予防の基礎を含む)、人間関係実践演習Ⅰ(初年次教育)、理学療法特講Ⅱ、見学実習、評価実習、臨床教育実習Ⅱ前期(4年次)、臨床教育実習Ⅱ後期(4年次)

(6)研究テーマ

- ① 内部障害(主に呼吸)に関する研究
- ② 筋力に関する研究
- ③ 学生支援に関する研究

(7)研究業績等

- ① 論文 「最大口腔内圧法による呼吸筋力と身体機能との検討」(単著)国際医療福祉大学大学院博士論文 2018年3月
- ② 論文 Validity and reliability of isometric knee extension muscle strength measurements using a belt-stabilized hand-held dynamometer: A comparison with the measurement using an isokinetic dynamometer in a sitting posture(共著) *J. Phys. Ther. Sci.* 32(2) 2020年2月
- ③ 論文 「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)による緊急事態宣言下の外出自粛期間中における授業開始前の大学新入学生の精神的健康度」(共著)了徳寺大学研究紀要第15号 2021年3月

(8)所属学会・団体

- ① 日本理学療法士協会
- ② 日本臨床生理学会
- ③ 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会

2022年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 一色 員子 (イッシキ カズコ)

(2)職 名 : 講師

(3)学 位 : 博士(医学)

(4)資 格 : 理学療法士

(5)担 当 科 目 : 地域リハビリテーション概論 理学療法特講Ⅰ 理学療法特講Ⅱ 運動学実習
日常生活活動学 理学療法評価学Ⅰ 基礎運動療法学実習
臨床教育実習Ⅱ前期(4年次) 臨床教育実習Ⅱ前期(4年次発表会)
臨床教育実習Ⅱ後期(4年次) 臨床教育実習Ⅱ前期(4年次発表会)
見学実習(通所リハビリテーション又は訪問リハビリテーション) 評価実習

(6)研究テーマ

- ①変形性股関節症の理学療法
- ②CTを用いた筋断面積の評価について
- ③神経解剖学

(7)研究業績等

- ①論文 "Asymmetry of the cross-sectional area of the gluteus medius muscle persists eight years after total hip arthroplasty for osteoarthritis of the hip" (筆頭共著)
Progress in Rehabilitation Medicine 2021年12月
- ②論文 「片側下肢術後の動作障害に対する理学療法アプローチ」(共著) メディカルプレス
『理学療法』2010年1月
- ③著書 シンプル理学療法学・作業療法学シリーズ『人間発達学テキスト』(共著) 南江堂
2014年6月

(8)所属学会・団体

- ①社団法人日本理学療法士協会
- ②理学療法科学学会
- ③日本股関節学会

2022年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 源 裕介 (ミナモト ユウスケ)

(2)職 名 : 講師

(3)学 位 : 修士(スポーツ健康科学)

(4)資 格 : 理学療法士(認定理学療法士:運動器)
整形外科リハビリテーション学会評議委員 認定指導員

(5)担 当 科 目 : 整形外科系障害理学療法学演習 スポーツ障害理学療法学演習
運動学Ⅰ 運動学Ⅱ 物理療法学総論(実習を含む) 理学療法特講Ⅰ
理学療法特講Ⅱ 発達障害理学療法学総論 臨床教育実習Ⅱ(前期)
臨床教育実習Ⅱ(後期) 見学実習 評価実習

(6)研究テーマ

- ① ランニング障害の発生要因と運動療法
- ② スポーツ障害・外傷における運動療法
- ③ 運動器疾患における運動療法

(7)研究業績等

- ① 論文「ジグリングが進行期変形性股関節症患者の理学所見に及ぼす影響」(共著) Hip Joint
47巻2号 pS127-S130 令和3年8月
- ② 論文「当院における中学生陸上競技選手の外傷・障害の傾向」(共著) 日本臨床スポーツ
医学会誌 28巻2号 p376-382 令和2年4月
- ③ 論文「大腿外側上顆における形態の個体差に関する一考察」(共著) 了徳寺大学研究紀
要第14号 p85-91 令和2年3月

(8)所属学会・団体

- ① 日本理学療法士協会(日本運動器理学療法学会・日本スポーツ理学療法学会)
- ② 整形外科リハビリテーション学会
- ③ 日本臨床スポーツ医学会
- ④ 日本臨床バイオメカニクス学会
- ⑤ 日本股関節学会
- ⑥ 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)

2022年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 兎澤 良輔 (トザワ リョウスケ)

(2)職 名 : 講師

(3)学 位 : 博士(医学)

(4)資 格 : 理学療法士

(5)担 当 科 目 : 理学療法評価学Ⅱ(画像評価を含む)、基礎運動療法学、基礎運動療法学実習、整形外科系障害理学療法学演習、スポーツ障害理学療法学演習、日常生活活動学実習、理学療法特講Ⅱ、見学実習、評価実習、臨床教育実習Ⅱ前期(4年次)、臨床教育実習Ⅱ後期(4年次)

(6)研究テーマ

- ① 理学療法評価に関する研究
- ② 障害予防に関する研究
- ③ 運動療法に関する研究

(7)研究業績等

- ① 著書『PT 臨床評価ガイド』(共著) 医学書院 2022年1月
- ② 論文 Reliability of ultrasound to measure the distance between lumbar interspinous processes. (共著) *Medical Engineering & Physics* 99 2022年1月
- ③ 論文 Possible role of MRI-detected osteophytes as a predictive biomarker for development of osteoarthritis of the knee: A study using data from the Osteoarthritis Initiative (共著) *Osteoarthritis and Cartilage Open* 3(4) 2021年12月

(8)所属学会・団体

- ① 日本理学療法士協会
- ② 日本臨床スポーツ医学会
- ③ 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会

2022年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名： 町田 志樹 (マチダ シキ)

(2)職 名： 講師

(3)学 位： 博士 (医学)

(4)資 格： 理学療法士

(5)担 当 科 目： 解剖学実習 (整復・医療トレーナー学科、理学療法学科)、理学療法特講Ⅱ、人体の構造・機能論Ⅰ・Ⅱ、臨床教育実習Ⅱ (前期・後期)、評価実習、見学実習

(6)研究テーマ

- ① 初年次教育
- ② Remedial 教育
- ③ 解剖学

(7)研究業績等

- ① 『Stay's Anatomy 神経・循環器編』 (単著) 株式会社 羊土社 2020年10月
- ② 『町田志樹の聴いて覚える解剖学 中枢・末梢神経編』 (単著) 株式会社 三輪書店 2020年12月
- ③ 著書 『Stay's Anatomy 臓器編』 (単著) 株式会社 羊土社 2021年3月

(8)所属学会・団体

- ① 日本理学療法士学会
- ② 日本教育医学会
- ③ 大学マネジメント研究会

2022年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 荒井 沙織 (アライ サオリ)

(2)職 名 : 講師

(3)学 位 : 修士(保健医療学)

(4)資 格 : 理学療法士
認定理学療法士(脳卒中)

(5)担 当 科 目 : リハビリテーション医学(整)、神経系障害理学療法学、神経系障害理学療法学
実習、生理学実習、義肢装具学、日常生活活動学実習、理学療法特講Ⅱ、内
部障害理学療法学実習、臨床教育実習Ⅱ前期(4年次)、臨床教育実習Ⅱ後
期(4年次)、見学実習、評価実習

(6)研究テーマ

- ① 脳卒中片麻痺に関する研究
- ② Pusher 症候群・高次脳機能障害(神経心理学的検査)に関する研究
- ③ 応用行動分析学に関する研究

(7)研究業績等

- ① 論文 「急性期 Pusher 症状に対する段階的難易度調整を用いた立位練習の検討」(共著)
『理学療法科学』33 巻 2 号 2018 年 4 月
- ② 論文 「脳卒中片麻痺患者におけるトイレ動作介助に必要な立位保持時間と高次脳機能障害
の影響」(共著)了徳寺大学研究紀要 第 14 号 2020 年 4 月
- ③ 著書 「理学療法士・作業療法士のためのできる! ADL 練習」(共著) 南江堂 2016 年 6 月

(8)所属学会・団体

- ① 日本理学療法士協会
- ② 理学療法科学学会
- ③ 行動リハビリテーション研究会
- ④ 一般社団法人日本高次脳機能障害学会

2022年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 清水 菜穂 (シミズ ナオ)

(2)職 名 : 講師

(3)学 位 : 修士(保健医療学)

(4)資 格 : 理学療法士

(5)担 当 科 目 : 衛生学・公衆衛生学、リハビリテーション医学(整復医療・トレーナー学科)
整形外科系障害理学療法学実習、臨床運動学実習
内部障害理学療法学実習、義肢装具学、理学療法特講Ⅰ、理学療法特講Ⅱ、
見学実習、評価実習、臨床教育実習Ⅱ(前期・後期)

(6) 研究テーマ

- ①慢性疼痛の予防についての研究
- ②ソーシャルキャピタルについての研究
- ②ウイメンズリハビリテーションについての研究

(7)研究業績等

- ①論文「Hand-held Dynamometer を使用した背臥位での股関節外転筋力測定方法の信頼性についての検討」(共著)『了徳寺大学研究紀要』第11号2017年3月
- ②報告「医療系大学生における月経に対する認識の性差と月経による日常生活、実習への影響」(共著)『了徳寺大学研究紀要』第12号2018年3月
- ③論文「ソーシャル・キャピタルの本質とその捉え方：ゼロ次予防の観点から考える」(原著)『秋田理学療法』第27号2020年3月

(8) 所属学会・団体

- ①日本理学療法士学会
- ②日本骨粗鬆症学会
- ③日本転倒予防学会
- ④日本女性医学学会
- ⑤日本女性心身医学会

2022年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 石井 成美 (フリガナ:イシイ ナルミ)

(2)職 名 : 助教

(3)学 位 : 修士(保健医療学)

(4)資 格 : 理学療法士

(5)担 当 科 目 : 解剖学実習、運動学Ⅱ、生理学実習
理学療法評価学Ⅱ、見学実習、評価実習

(6)研究テーマ

- ① 理学療法評価に関する研究
- ② 運動器障害に関する研究

(7)研究業績等

- ① 学会発表:第40回関東甲信越ブロック
「デジタル傾斜計を用いた仙骨傾斜角測定の検者内信頼性についての検討」2021年9月

(8)所属学会・団体

- ① 日本理学療法士協会

2022年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 澤 広太 (フリガナ: サワ コウタ)

(2)職 名 : 助教

(3)学 位 : 修士(首都大学東京人間健康科学部理学療法科学域)

(4)資 格 : 理学療法士
認定脳卒中
認定補装具

(5)担 当 科 目 : 老年期障害理学療法学演習(担当)
理学療法特講 I (分担)
物理療法学総論(分担)
機能能力診断学実習(分担)

(6)研究テーマ

- ① 脳卒中
- ② バランス
- ③ 垂直認知
- ④ ニューロリハビリテーション

(7)研究業績等

- ① Sawa, K., Amimoto, K., Ishigami, K., Miyamoto, T., Setoyama, C., Suzuki, R., Kuwabara, N., Tamura, M., Miyagami, M., & Fukata, K. (2022). Immediate effects of lateral truncal tilt balance training with a wedge on subjective postural vertical and sitting balance in subacute phase patients after stroke. *International Journal of Therapy and Rehabilitation*, 2022, in press.
- ② Sawa K, Amimoto K, Ishigami K, Miyamoto T, Setoyama C, Suzuki R, Kuwabara N, Tamura M, Miyagami M.: Efficacy of Lateral Tilt Training on Postural Vertical and Activities of Daily Living after Stroke: A Randomized Crossover Trial. *NeuroRehabilitation*, 2022, in press.
- ③ Sawa K, Amimoto K, Meidian AC, Ishigami K, Miyamoto T, Setoyama C, Suzuki R, Tamura M, Miyagami M.: Efficacy of Sitting Balance Training with Delayed Visual Feedback among Stroke Patients: A Randomized Crossover Clinical Trial. *Journal of Physical Therapy Science*, 2022, in press.

(8)所属学会・団体

- ① 日本理学療法士協会
- ② 日本神経理学療法学会
- ③ 高次脳機能障害学会